

株主通信

2024年12月期

2024.1.1 ▶ 2024.3.31

GMOフィナンシャルHD

証券コード：7177

次なる飛躍に向けて、 既存事業を強化し 新規事業を着実に推進

代表執行役社長
COO

石村 富隆



当第1四半期の連結業績は、暗号資産事業が市場の回復を受けて好調に推移した一方、店頭FXの取引量・収益の減少により証券・FX事業の営業収益が減少し、全体の営業収益は前年同期比5.8%減の128.8億円にとどまりました。一方、利益面では、暗号資産事業の貢献に加え、タイ証券事業に係る貸倒引当金繰入額を中心にコストが減少したことで、各段階利益は前年同期を上回る結果となりました。

証券・FX事業においては、主力商品である店頭FXやCFDのさらなる成長に向けて、取引をしてくださるお客様を増やすことに注力しています。アクティブユーザー数を主要KPIとして、ツールの利便性向上やクロスセル施策の推進に加えて、各種キャンペーンを展開し、取引活性化と顧客基盤の拡大を図っています。また、GMOクリック証券では、この4月に店頭FX取引において、米ドルで投資し、米ドルでスワップポイントや決済損益を受け取ることができる「外貨取扱サービス」を開始しています。今後も、多様な投資ニーズに応えることで顧客の裾野を広げ、持続的成長を実現してまいります。

暗号資産事業は、長らく低迷していたマーケットの影響を受けて低調であったものの、ビットコインなどの暗号資産価格の上昇を背景に、この半年ほどで売買代金が徐々に増えつつあります。当第1四半期においては、GMOコインの売買代金は前年同期比109.1%増と大きく伸長したほか、口座数と顧客預り資産も順調に拡大しました。引き続きコスト・コントロールをしながらも利便性を高め、事業基盤の拡大を図っていきます。

また、新たな取り組みとして、医療・ヘルスケア分野におけるサービスの開始に向けて準備を進めています。株主の皆様におかれましては、事業領域の拡大に向けた今後の新たな挑戦にもご注目いただき、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算ダイジェスト

(2024年1月1日～2024年3月31日)

▼第1四半期決算のポイント

FX収益減少で減収も、各段階利益は増益

当第1四半期

営業収益

12,880 百万円
(前年同期比△5.8%)

営業利益

4,352 百万円
(前年同期比+15.3%)

経常利益

4,161 百万円
(前年同期比+7.9%)

親会社株主に帰属する四半期純利益

2,800 百万円
(前年同期比+24.0%)

業績レビュー

(2024年1月1日～2024年3月31日)

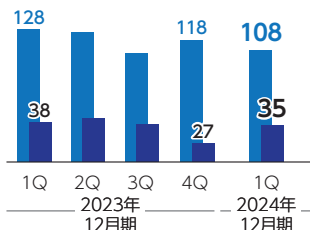
証券・FX事業:店頭FXは、非常に好調であった前年同期比で取引量が減少したこと等により減収となりました。CFDについては、売買代金が前年同期比で減少となったものの、収益性が改善したことから収益は微増となりました。その結果、当セグメントの営業収益は108.7億円(前年同期比15.3%減)、営業利益は35.1億円(同9.1%減)となりました。

暗号資産事業:代表的な暗号資産であるビットコインの価格が2024年3月には過去最高値を記録するなど大幅に上昇する中、GMOコインの売買代金は前年同期と比べて2倍以上に伸長しました。その結果、当セグメントの営業収益は19.0億円(前年同期比145.2%増)となり、営業利益は前年同期の3百万円から大幅に増加し10.4億円となりました。

■ 四半期業績の推移(セグメント別)

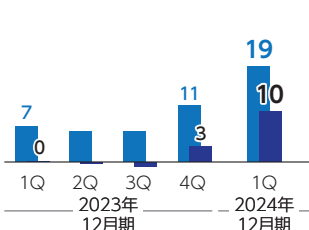
<証券・FX事業>

(億円) ■ 営業収益 ■ 営業利益



<暗号資産事業>

(億円) ■ 営業収益 ■ 営業利益



トピックス

医療・ヘルスケア分野へ新規参入

当社及び当社連結子会社は「強いものをより強くする」の方針のもと、既存事業における収益基盤のさらなる強化と成長性が期待される新規事業領域への積極的投資を推進しています。

人生100年時代において医療・ヘルスケア分野の重要性が一層高まり、さらなる市場拡大が見込まれる中、堅牢で利便性の高い金融サービスの提供で培ったシステム開発力とインターネットマーケティングのノウハウを活かし、新たな価値創造と企業価値向上を図ることを目的に、当社は2024年1月にGMOインターネットグループ株式会社等との共同出資によりGMOヘルステック株式会社を設立しました。

また、3月にはGMOヘルステックが電子カルテなど医療ITサービスを提供するGMOヘルスケア株式会社の全株式*を取得しました。双方のノウハウを融合させることで付加価値の高いサービスを生み出し、成長を図ってまいります。今秋には新サービスのローンチを予定しています。ご期待ください。

(※)2024年6月1日付で株式会社アイソルから商号を変更しました。アイソル及びアイソルの関連の会社2社の合計3社の全株式を取得しています。

新サービス「外貨取扱サービス」を開始



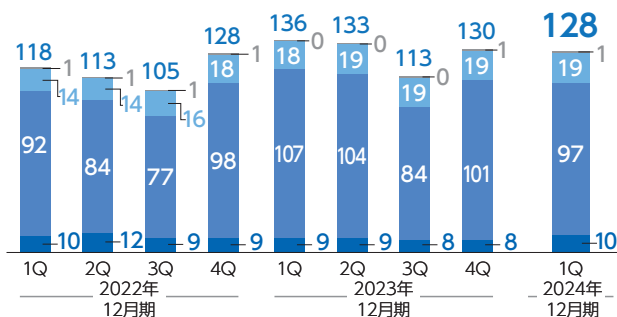
GMOクリック証券は、2024年4月より、新たに「外貨取扱サービス」を開始しました。店頭FX取引サービス「FXネオ」の対ドル通貨ペアの決済損益やスワップポイントを米ドルで受け取ることができるほか、口座内では手数料0円・スプレッド0銭で日本円から米ドル、米ドルから日本円への両替が可能です。また、FXネオ取引口座で保有している米ドルは、同口座の余力に加味されます。

2024年7月には米ドルの入出金をはじめ、米ドル建て債券の利息や償還金についても米ドルでの受け取りを選択できるようにサービスを拡充する予定です。外貨を受け取って外貨で投資できる環境を用意することで、お客様の投資の選択肢を広げてまいります。

四半期業績の推移

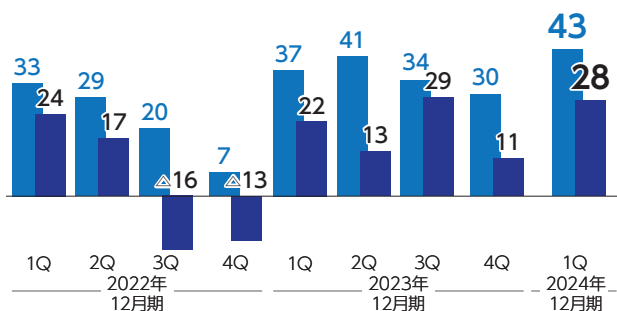
営業収益

(億円) ■ 受入手数料 ■ トレーディング損益 ■ 金融収益 ■ その他



営業利益／親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円) ■ 営業利益 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益



株主還元方針と配当の状況

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%以上を目途に、四半期ごとに配当することを目標としています。

2024年12月期第1四半期末配当につきましては、上記方針に基づき1株当たり11.87円といたしました。

(単位:円)	1Q	2Q	3Q	期末	年間
2023年12月期	10.10	5.70	9.80	7.20	32.80
2024年12月期	11.87	—	—	—	—

ホームページのご案内



<https://www.gmofh.com/>

月次開示情報や決算説明資料、各種開示資料等、タイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。

会社情報

(2024年3月31日現在)

会社概要

商 号 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社
(GMO Financial Holdings, Inc.)

本店所在地 〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-2-3 渋谷フクラス

代 表 者 代表執行役社長 COO 石村 富隆

事 業 内 容 金融商品取引業等を行う連結子会社の経営管理
ならびにこれに附帯する業務

設 立 2012年1月4日

資 本 金 705百万円

従 業 員 数 476名(連結)

株主メモ

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

証 券 コード 7177 上 場 日 2015年4月1日

事 業 年 度 1月1日～12月31日 定時株主総会 毎年3月

定時株主総会基準日 12月31日 1単元の株式数 100株

剰余金の配当基準日 3月31日、6月30日、9月30日、12月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵送物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問合せ先 TEL:0120-782-031(フリーダイヤル)

ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公 告 の 方 法 電子公告 公告URL: <https://www.gmofh.com/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。